

盛岡市の農業について

○概要

人口 46 万人を超える盛岡広域圏の中心となる盛岡市は、農畜産物の生産地であり、かつ県内最大の消費地である地域特性を生かし、地産地消をベースとした農業に取り組んでいる。市の農業は、銀河のしずくやひとめぼれなどの水稲、トマトやねぎといった野菜、りんごをはじめとする果樹、ブロイラーや黒毛和牛、短角牛に代表される畜産など「多種多様な農畜産物の生産」が特徴。令和 3 年の農業産出額は 241 億 6,000 万円で、岩手県内では第 2 位、東北地方の市町村別では第 8 位と上位に位置している。

○参考 URL

<https://www.city.morioka.iwate.jp/jigyousha/1026070/nogyo/1021299.html>

「もりおかの食と農バリューアップ推進戦略」について

○概要

食と農の連携による「農家所得の向上」と「食関連産業の活性化」を目的に、H29 年度に「もりおかの食と農バリューアップ推進戦略」を策定し、さまざまな事業を実施。令和 6 年度でこれまでの取組を振り返り、戦略を改定する予定。

○参考 URL

<https://www.city.morioka.iwate.jp/shisei/keikaku/sangyokei/1022663.html>

「美食王国もりおか」について

○概要

盛岡産農畜産物の高付加価値化・販路拡大をねらいとして、盛岡の食と農のイメージを浸透・定着させるために開発されたキャッチフレーズ。おわんと王冠がモチーフのロゴマークには、農畜産物に関わる生産者・事業者・消費者が食卓を囲む様子が描かれており、3 者が一体となって盛岡の「食と農」を盛り上げていこうという思いが込められている。

「盛岡りんご」について

○概要

盛岡市の 6 つの特産食材のうちの一つ。岩手県はりんごの収穫量が全国第 3 位で、中でも盛岡市は県内第 1 位のりんご栽培面積を誇っている。

盛岡のりんごのブランド性を高めその普及を図ることを目的として、2006 年から「盛岡りんご」と称してブランディングに取り組んでいる。特に市と 15 名のりんご生産者により構成される「盛岡りんご推進協議会」では、ロゴマークを使用しながら盛岡りんごの PR に努めているが、盛岡りんごの特徴・優位性を言語化できていないという課題がある。

○参考 URL

<https://www.city.morioka.iwate.jp/shisei/machizukuri/1026072/1028166.html>